

# 前川ゼミ まとめ2

---

# 授業見学を終えて

---

- 小学校の授業参観を終えて感じたこと、生かしたいことまとめる。
- 1:小学1年生の授業から
- 2:小学4年生の授業から
- 3:先生方の姿をから
- 4:まとめ

# 1: 小学1年生の授業から

---

- 授業で「おおきなかぶ」を2チームに分かれて音読発表会をしていた。参観できるのはその瞬間だけで、練習期間からの流れを知らない。また、生徒たちも自分の姿を見れないと思った。
- そこから思ったこと⇒個人のタブレットで練習風景を撮影し、生徒同士の練習をより深いものにしたり、授業全体のFBで最初からどれだけ成長したかを感じることが出来る。
- 1年生からでもタブレットを使う習慣を授業に取り入れるべきだと思う

## 2: 小学4年生の授業から

---

- 社会の授業でタブレットを資料集には載っていない情報を調べる材料として使っていた。調べたものをノートに書いてグループ学習へとつなげていた。
- そこから思ったこと⇒ノートに書きうつさず、そのままタブレットを見せながらグループ学習をすれば、発信能力・共有能力も養えると思った。
- 図表の代わりに使っているのを、生徒同士への発表へとつなげられればより良い学びができる。

## 3: 先生方の姿から

---

- 先生方の姿を一貫して思ったこととして、先生たちがタブレット教育を受けてきていないため、どう教えればよいのかを迷っているように感じた。実際、先駆的な授業をしている学校は多くあるものの、各学校の特色に応じて行えば良いため、比べる必要は全くないとも感じた。
- そこから思ったこと⇒自分たちに合ったタブレット授業をするには長期的な時間がかかるため、先生方からするとそこまで時間をかけられないと思っているのかもしれない。しかし、そこから見つけられることは多いため、長期的でも頑張っていく必要があると思った。

# まとめ

---

- タブレット授業や、ICT教育を受けていない先生が、それをもろに受ける生徒へどう授業をすればよいのか迷うのは当然のことであると感じた。しかし、新しい方法を模索し続け、それが長期的になったとしても、小学生からタブレットを生かした授業を展開していくべきだと思う。
- 調べ学習で使うのは簡単かつ楽な方法ではあるが、そこで得た情報を生徒同士で共有したり、クラスへ発表したりする等、撮影・発信・共有の3点を生かす授業展開をするべきだと思う。

# まとめの続き

---

- 長期的になることを嫌がる先生もいらっしゃる傾向があると感じた。そのため、最初から1年生を対象に始めたほうが、先生にとっても長期になることを覚悟したうえで接してくれるのではないかとも思った。
- 調べ学習などでは利用できているため。FBで使えるように事前学習や発表風景などをタブレットを通して利用できるように授業案を考えていこうと思った。